

令和4年度
大洲市の決算

目 次

○一般会計の歳入	・ ・ ・ ・ ・	P 1
○一般会計の歳出	・ ・ ・ ・ ・	P 2
○大洲市の特別会計	・ ・ ・ ・ ・	P 9
○大洲市の企業会計	・ ・ ・ ・ ・	P 11

会計の種類

○一般会計

地方公共団体の行政運営の基本的な会計です。

福祉・教育・土木などに要する経費を市税などを主な財源として経理する会計です。

○特別会計

特定の事業を行う場合に特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計です。

本市では国民健康保険、介護保険などがあります。

○企業会計

市の一般会計と切り離され、独立採算制による特定の事業を経理する会計です。

本市では水道事業や病院事業などがあります。

一般会計の歳入

歳入総額 342億8,945万円

種類	金額	割合
地方交付税	109億7,528万円	32.0%
国庫支出金	51億8,417万円	15.1%
市債	41億3,450万円	12.1%
市税	45億0,221万円	13.1%
繰越金	39億5,950万円	11.5%
県支出金	16億5,812万円	4.8%
その他	38億7,567万円	11.4%

【用語解説】

地方交付税	どの地域に住む人でも一定水準のサービスを受けることができるよう国から交付されるお金 国税6税(所得税、酒税、法人税、消費税、たばこ税、地方法人税)が原資となっています。
国庫支出金	道路や建物の整備などに必要なお金の一部として国から受け入れたお金
市債	市が借り入れたお金
市税	みなさんから市に納められたお金

市税の内訳

項目	金額	割合
固定資産税	21億2,826万円	47.3%
市民税	18億4,153万円	40.9%
たばこ税	3億3,806万円	7.5%
軽自動車税	1億9,299万円	4.3%
入湯税	137万円	0.0%

一般会計の歳出

歳出総額 310億0,107万円

目的別

目的	金額	割合
民生費	85億8,406万円	27.7%
総務費	57億4,561万円	18.6%
公債費	37億9,045万円	12.2%
教育費	33億2,318万円	10.7%
土木費	29億7,966万円	9.6%
衛生費	27億9,369万円	9.0%
農林水産業	12億3,661万円	4.0%
その他	25億4,781万円	8.2%

性質別

性質	金額	割合
普通建設事業費	47億6,210万円	15.3%
扶助費	43億8,957万円	14.2%
人件費	48億4,431万円	15.6%
補助費等	43億1,739万円	13.9%
物件費	38億9,365万円	12.6%
公債費	37億9,032万円	12.2%
その他	50億0,373万円	16.2%

普通建設事業費	道路や公園などの公共施設を建設するために使ったお金
扶助費	児童手当や、重度心身障害者・子どもの医療費などに使ったお金
補助費等	各種団体への補助金や組合への負担金に使ったお金
物件費	消耗品や旅費、公共施設の運営などに使ったお金

一般会計の歳出 目的別

議会費

予算額 1億9,931万円
決算額 1億9,161万円

執行率 96.1%

総務費

予算額 62億7,815万円
決算額 57億4,561万円

執行率 91.5%

例えばこんなことに…

DX推進

様々な分野において、地域が一丸となった誰一人取り残されないDXの推進に取り組むため、令和4年度に策定した「大洲市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」に基づき各施策を推進しました。

- ・アクションプランの策定
- ・タッチパネルを使用した証明書発行サービス
- ・コンビニ交付サービス
- ・オンライン手続きの拡充

移住・定住の促進

空き家の利活用を促進する空き家バンク制度をはじめ、移住者や子育て世帯、新規就業者、新婚世帯に対して総合的な助成制度を充実させ、移住・定住の促進を図りました。

地域内交通の整備・見直し

地域公共交通網形成計画に基づき、交通空白地等から直近の交通結節点までの交通手段の整備・見直しを進め、市民の交通利便性の向上を図りました。

<デマンド型交通>

本格運行：4地区、実証運行等：2地区

<自家用有償旅客運用（定路線）>

1地区

民生費

予算額 96億4,710万円

決算額 85億8,406万円

執行率 89.0%

例えばこんなことに…

保育所や認定こども園の運営

保育が必要な児童が入所し、豊かな人間性を持った子どもの教育・保育に努めるとともに、施設の適正な管理運営を行い、児童福祉の向上を図りました。

保育所・・・9施設

認定こども園・・・4施設

高齢者福祉の充実

高齢者が要介護状態に陥ることなく、住み慣れた地域で継続して生活を送ることができるよう事業を行いました。

衛生費

予算額 32億1,394万円

決算額 27億9,369万円

執行率 86.9%

例えばこんなことに…

ごみの処理

家庭や事業所などから排出されるゴミを分別収集し、適正に処理しました。

<ごみの収集量>

・燃やすごみ	6,339.19トン
・燃やさないごみ	319.52トン
・資源ごみ（缶・びん）	291.77トン
・資源ごみ（ペットボトル・発泡スチロール容器）	69.39トン
・資源ごみ（古紙類・古着・紙パック）	453.27トン
・有害ごみ（廃乾電池など）	10.39トン
・粗大ごみ	14.87トン

労働費

予算額 7,000万円
決算額 7,000万円

執行率100.0%

農林水産業費

予算額 15億9,571万円
決算額 12億3,661万円

執行率 77.5%

例えばこんなことに…

森林経営管理事業

令和元年度に設置した「大洲市森林経営管理事業等検討委員会」で策定された「大洲市森林経営管理事業等実施計画」に基づき、森林環境譲与税等を活用して森林整備、担い手対策、林業振興の各種事業を実施しました。

中山間地域等直接支払推進事業

中山間地域における農業生産条件の不利性を直接支払いで補正することにより、適正な農業生産活動等を通じた耕作放棄地の発生防止と多面的機能の維持増進を図りました。

<対象集落数> 大洲地域 27集落、長浜地域 8集落、肱川地域 11集落、
河辺地域 10集落 合計56集落
<交付金総額> 53,775,693円

多面的機能支払事業

農地・水・農村環境の保全向上を目的として、農地・水路等の保全管理、農村の生態系の保全などの取組みを地域共同活動により実施しました。

<実施内容> 農地維持支払（13組織）、資源向上支払/共同組織（4組織）
資源向上支払/長寿命化（2組織） など

水産事業

愛媛県が管理する長浜港の小型船だまりに市が整備を計画している漁業関連施設について、荷捌所の新築工事などを実施しました。

商工費

予算額 13億4,588万円

決算額 10億2,549万円

執行率 76.2%

例えばこんなことに…

企業の経営・創業・事業承継支援

大洲市中小企業者・小規模事業者振興基本条例に基づき、市内で事業を営む中小事業者及び市内で新たに操業する者の事業活動に要する経費に対して補助金を交付しました。

大洲ブランドの創出 ～大洲ええもんセレクションブランド戦略支援事業～

認定品の価値の向上や販路開拓を目指し、個別指導や販売・商談会の機会提供、情報発信等を行い、流通拡大に繋げることで大洲ブランドの信頼性と認知度を高めるとともに、地域活性化と市のイメージアップを図りました。

さらに、認定商品の中でも認定事業者が自ら取り組む事業を支援し、大洲ブランドの向上と事業者の継続的な経営を支援しました。

町家等活用改修事業

大洲市観光まちづくり町家活用エリアにおける町家・古民家等の歴史的資源の維持を図るとともに地域経済の活性化及び地域の成長発展の基盤強化を目的に、町家・古民家等の活用に向けた改修に対して補助を行いました。

4期目となった令和4年度においては、合計で4件4棟に対して保存・活用に係る整備の補助を行いました。

広域連携事業 ～日本三大芋煮事業～

「芋煮・いもたき」が地域の伝統料理である島根県津和野町、山形県中山町、大洲市の3市町が連携し、効果的・継続性の高い共同事業を実施することで、郷土料理の伝承と産業観光の振興、地域の活性化を図りました。

土木費

予算額 40億9,484万円

決算額 29億7,966万円

執行率 72.8%

例えばこんなことに・・・

道路の新設・改良

大洲市の市道は総延長1,721km（令和4年4月現在）で、国、県の補助事業や起債事業、または市単独事業により、道路の改良や舗装を行い、地域住民の暮らしの利便性の向上を図りました。

- ・ 交付金道路整備事業 814,516千円
- ・ 辺地対策事業 87,279千円
- ・ 過疎対策事業 69,508千円
- ・ 市単独事業 48,551千円

住家の耐震・空き家除却

地震への対策として木造住宅の耐震化とともに、老朽化した危険な空き家を除却する経費の一部に対する助成を行いました。

- ・ 木造住宅耐震改修：3件 助成額 3,440千円
- ・ 危険空き家除却：20件 助成額 15,462千円

消防費

予算額 10億3,557万円

決算額 9億4,534万円

執行率 91.3%

例えばこんなことに・・・

防災体制の充実

市内全地区で結成されている自主防災組織の活動を支援することにより、防災力の向上を図りました。

- ・ 自主防災組織による訓練・研修 129件 延べ1,746人参加

消防施設整備

老朽化した消防詰所の建て替え、小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプの更新を行い、消火活動の効率化を図りました。

- ・ 詰所建て替え 3箇所 43,578千円
- ・ 消防車両 2台（ポンプ車、積載車各1） 26,433千円
- ・ 小型動力ポンプ 6台 11,616千円

教育費

予算額 35億3,418万円

決算額 33億2,318万円

執行率 94.0%

例えばこんなことに…

情報通信環境の整備・充実

GIGAスクール構想により整備したICT環境をより効果的に活用していくために、GIGAスクール運営支援センターの整備を進めました。

- ・ICT機器サポート、授業支援・研修 4,237千円

外国語教育の充実

外国語指導助手に導入により、児童生徒の英語に対する興味、関心及び学習意欲を高め、新学習指導要領に対応した外国語教育の充実を図った。

- ・外国語指導助手（ALT） 6人

廃校施設の利活用

廃校となった小学校や幼稚園施設の利活用を推進するとともに、利活用のない施設等については除去事業に取り組みました。

- ・利活用の状況
ピザ窯、工房、集会施設等
旧柳沢小、旧田処小、旧戒川小、旧櫛生小、旧出海小、旧豊茂小、
旧白滝小、旧予子林小、旧大谷小
- ・除去事業
令和5年度除却予定の施設の解体設計業務 8,800千円

文化財保存活用事業

市民の文化財への関心と愛護精神の高揚を図るとともに、各地域における民族芸能保存団体活動の支援を行い、地域に根付いた歴史・伝統・文化の伝承を図った。

- ・臥龍山荘庭園シンポジウム 2月19日（日）開催
- ・保存団体への助成：4団体 786千円

その他

予算額 41億8,285万円

決算額 41億0,583万円

執行率 98.2%

公債費、災害復旧費、予備費など

大洲市の特別会計

特別会計とは、ある特定の事業を行う場合に一般会計とは区別して、歳入や歳出などの経理処理をするものをいいます。

また、特別会計を新たに設けたり、廃止するときには、条例で規定しなければなりません。

1 国民健康保険

予 算	53億7,469万円
収 入	53億1,202万円
支 出	50億4,270万円
差引額	2億6,932万円

国民健康保険制度は、病気やケガをした時に病院に支払う診療費の一部を負担することによって自己負担を軽くするための社会保険です。自営業者や会社を退職した人などが加入しています。

加入者が納付した保険税などの収入や医療費の支払いなどを管理するための会計です。

2 国民健康保険診療所

予 算	1億0,982万円
収 入	9,857万円
支 出	9,857万円
差引額	0円

河辺診療所を運営するため、個人が納付した医療費や診療報酬などの収入や、医師や看護師の person 費、医薬品や医療機器の支払いなどを管理するための会計です。

3 後期高齢者医療

予 算	7億3,485万円
収 入	7億0,893万円
支 出	6億8,088万円
差引額	2,805万円

後期高齢者医療制度は、平成20年4月1日から開始しました。75歳以上の人と65歳以上で一定の障がいのある人を対象にした医療制度です。

加入者が納付した保険料などの収入や、制度の運営をしている後期高齢者医療広域連合（都道府県単位に設置）への負担金などの支払を管理するための会計です。

4 介護保険（介護保険事業勘定・介護サービス事業勘定）

予 算	56億4,507万円
収 入	55億5,838万円
支 出	54億4,692万円
差引額	11,146万円

介護保険制度は、介護を必要としている人が日常生活を送るために訪問サービスや施設サービスを受けることができるよう、社会全体で支える仕組みとして導入されている制度です。

加入者が納付した保険料などの収入や保険給付費などの支払いを管理するための会計です。

5 飲料水供給事業

予 算	3,987万円
収 入	3,402万円
支 出	3,402万円
差引額	0円

飲料水供給事業は、給水人口が50人から100人までの飲料水供給施設と、10人から49人までの共同給水施設で水を供給しています。

使用者からの使用料収入や、水道施設の維持管理や施設整備にかかる支払を管理するための会計です。

6 港湾施設事業

予 算	1,013万円
収 入	950万円
支 出	950万円
差引額	0円

港湾センター(大洲市長浜)の施設使用料などの収入や、施設の維持管理にかかる支払いなどを管理するための会計です。

7 土地取得造成

予 算	20万円
収 入	0円
支 出	0円
差引額	0円

公共事業として必要な土地を購入するための費用や、その用地費用を準備するために借り入れる地方債の元利償還金などを管理するための会計です。

収入は一般会計からの繰入金が主なものです。

8 農業集落排水事業

予 算	2,318万円
収 入	2,110万円
支 出	2,110万円
差引額	0円

八多喜地区において供用している農業集落排水施設(生活雑排水を処理して川にもどす農村地域における下水道)の、使用者からの使用料の収入や、施設管理や借入金の返済などの支払を管理するための会計です。

9 温泉事業

予 算	1,475万円
収 入	878万円
支 出	867万円
差引額	11万円

大洲市少彦名温泉の温泉水使用料や、施設の貸付料などの収入、施設の管理や借入金の返済などの支払を管理するための会計です。

大洲市の企業会計

企業会計とは、公共の利益を目的として経営する企業にかかる会計のことです。
大洲市では、水道事業、工業用水道事業、下水道事業、病院事業があります。

水道事業会計

総収益	11億7,880万円
総費用	11億4,299万円
当期純利益	3,581万円

飲料水供給事業以外の水道事業を運営するための会計です。

給水人口	36,551人
年間配水量	5,907千m ³
年間有収水量	4,380千m ³

工業用水道事業会計

総収益	2,615万円
総費用	2,615万円
当期純利益	0円

工場や事業所などの限定した雑用水を供給する工業用水道事業を運営するための会計です。

給水先事業数	2箇所
--------	-----

下水道事業会計

総収益	6億9,079万円
総費用	6億9,079万円
当期純利益	0円

農業集落排水事業以外の下水道事業を運営するための会計です。

処理区域内人口	8,289人
処理水量	667,263m ³ (一日平均1,828m ³)

病院事業会計

総収益	31億4,375万円
総費用	31億9,295万円
当期純利益	△4,920万円

市立大洲病院を運営するための会計です。

病床数（一般・結核）	150床
延べ入院患者数	26,363人
延べ外来患者数	68,315人